



日本計算機統計学会

Japanese Society of Computational Statistics

NEWS LETTER

〒101-0061 東京都千代田区神田神保町3-6 産実書院ビル5F (公財)統計情報研究開発センター内
Tel./Fax: 03-3254-7580 E-mail: office@jscs.jp URL: <http://www.jscs.jp/>

No. 77
2023. 4. 17



日本計算機統計学会 会長就任挨拶

東海大学 山本義郎

この度、2023年1月～2024年12月の日本計算機統計学会会長に選出いただきました。その責任の重さについて改めて痛感しておりますが、会員の皆様の期待に応えられるよう、できる限り努力しますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。

会長としての2年間については、小木前会長(2021年～2022年)もあつという間と言われておりましたが、新しいことを立ち上げるには確かに短い期間かと認識しております。多くの学会が会員を大きく減らしている状況の中、日本計算機統計学会は、会員数を増やしております。これは、学生発表を積極的に表彰する学生研究発表賞を統計関連学会の中でも早い時期に設定したり、学生・院生がより交流しやすい機会として若手セミナーを設けたり、計算機統計セミナーで会員へのソフトウェアのハンズオンセミナーを廉価な会員価格で受講できるようにするなど、新規会員獲得、会員サービス向上に学会として取り組んできた成果であると思います。更に、小木前会長の提案により昨年度より、産官学連携企画として、まず第36回シンポジウムの前日(2022年11月25日)にチュートリアル「データ構造を考える」、シンポジウムに特別セッション「企業における医療データ利用の紹介」が、2023年3月にはJSCSフォーラム2023「公的統計・レジストリデータの利活用～安全性と利便性の狭間で～」が開催されました。今後も、企業所属の会員、企業への就職を考えている学生会員にとって興味深い企画が検討されております。このように、日本計算機統計学会は、若手の育成、企業と研究機関の連携に力を入れておりますが、会員が何を求めているか会員サービスを充実させることを第一に考え、というよりは、これらの企画の計画立案、運営に関わる学会役員が、こんな企画があったら参加したい、こんなセミナーがあったら聴講したい、という気持ちで取り組んでいることが企画の成功につながっているのではないかと思います。会員の皆さんもこんなセッションがあったらいいな、こんなセミナー参加したいなどあったら是非気軽に提案をお願いします。

私は、博士課程の大学院生の時期から、日本計算機統計

学会の大会、シンポジウムに参加、学会発表を何度かしましたが、この学会は、学生会員の発表にも誰かしら質問やコメントがあり、懇親会も含め交流の機会が多く、参加するのが楽しいと感じていました。その雰囲気は現在も続いており、それが学生会員や若手の発表が多い要因ではないかと思えます。第36回シンポジウムでは、学生研究発表セッションに28件の報告がありました。

2009年にGoogleのチーフエコノミストであるHal Varian氏が「これからの10年で最もセクシーな職業は統計学者だ」という発言があり、2012年にはHarvard Business Reviewの2012年10月号では、データサイエンティストが「21世紀で最もセクシーな職業」と紹介するなど、統計学・データサイエンスへの期待が高まり、ここ数年はデータサイエンス関連の学部学科開設も続き、ますます日本計算機統計学会に求められるものも大きくなっていると感じます。このような環境の中で、これまで以上に会員にとって居心地がよく、またこの学会に参加しているからこそできる研究交流・情報交換が今後も多くの会員にとって重要であるように、スタディー・グループを機に新たな研究グループが育つこと、大会・シンポジウムの充実、本学会らしい和文誌「計算機統計学」・計算機統計セミナーの実施などこれまでの本学会の取り組みを継続し、産官学連携企画など新たな企画にも力を注ぎ、より多くの会員の交流・懇親の場づくりに尽力いたします。会員の皆様方には、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

第37回大会のお知らせ

第37回大会実行委員長
札幌学院大学 中村 永友

日程:2023年6月2日(金)～3日(土)

会場:とちちプラザ(北海道帯広市)

開催形式:ハイブリッド方式(現地とオンライン)

URL:<http://jscs.jp/conf/taikai37/>

日本計算機統計学会第37回大会を2023年6月2日(金)～6月3日(土)に、とちちプラザ(北海道帯広市)にて開催いたします。開催日程周辺の北海道の気候は非常に過ごし

やすく、北海道では尤もよい季節です！金曜日と土曜日の開催ですので、日曜日にお帰りいただく日程を考えていただければ、小さな観光もできるかと存じます。

本大会では、これまで通り、一般セッション、学生研究セッション、特別講演を計画しております。今回はさらに「新卒採用企業紹介ランチョン」のセッションを計画しております。これは企業と学生を結びつけ、昼食をしながら企業の紹介や懇談を通して、社会的に必要とされているデータサイエンティストおよびその卵をそだてていくという企画です。これは社会的にも非常に有効な方法と考えます。学生を抱えておられる教員の方は、学生研究発表とともに、参加をお勧めください。

また、特別講演は、現在収まりつつある(?)新型コロナウイルスですが、これに対して統計学がどのような寄与してきたかを、東京大学医科学研究所教授の井元清哉氏にお話を頂きます。さらに、動物の生態と統計学の研究をされている帯広畜産大学准教授の茅野光範氏にご講演をお願いいたします。

今回の懇親会は、試みとして屋外にて北海道の食材とお酒をキッチンカーでご提供いたします。雨天でも開催可能な巨大テントも施設いたします。楽しみにしてください。

新型コロナウイルス感染症の完全収束は見通せないことから、現地開催を基本としながら、補助的にオンライン会議システムによるハイブリッド会議で開催いたします。開催会場のかちプラザは帯広駅前に立地し、駅周辺には多くのホテルや飲食街もありますので、ご事情が許す限り、現地に来ていただきたく存じます。充実した大会となるよう準備しておりますので、多くの皆様のご参加・ご講演を心よりお待ちしております。

発表申込・参加登録受付開始:3月23日(木)

講演申込締切:4月21日(金)

論文集用原稿締切:5月8日(月)

参加費早期納入割引適用期限:2023年5月12日(金)

お問い合わせ先:

日本計算機統計学会第37回大会事務局

〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

札幌学院大学 経済経営学部

中村 永友

E-mail:taikai37@jcs.jp

※E-mailにてお問い合わせ下さい。

第36回シンポジウムの報告

第36回シンポジウム実行委員長

東海大学 山本 義郎

日本計算機統計学会第36回シンポジウムは2022年11月26日(土)~27日(日)の日程で、富山国際会議場で対面とオンラインのハイブリッド形式で開催されました。また、前日の11月25日(金)にチュートリアル「データ構造を考える」を富山県民会館で開催しました。参加者は現地153人、オンライン78人の計231人、発表は特別講演1題、特別セッション12題、一般セッション30題、学生研究発表セッション28題、ソフトウェア・デモセッション3題の合計74題と、多くの発表を賜り、3並行セッションで実施されました。オンライン参加者も加え、2日間にわたり活発な議論がなされ、交流が行われました。

シンポジウム初日は学生研究発表セッション、ソフトウェア・デモセッション、特別講演、特別セッション「企業における医療データ利用の紹介」、特別セッション「スポーツ統計」、一般セッションが、2日目は一般セッション、スタディグループセッションが行われました。特別講演では「スポーツバイオメカニクスにおけるデータ活用」という題目で、東海大学体育学部の山田洋教授にご講演いただきました。

今回のシンポジウムでは久しぶりに100名を超える現地参加者があり、懇親会も岩瀬の磯料理 松月で80人規模で行うことができました。オンラインの便利さはあるものの、対面で有意義な交流・意見交換ができたとの意見が多く聞かれました。

最後に、本シンポジウムを開催するにあたり特別講演をお引き受け頂いた山田 洋氏、座長の方々、ご講演頂きました方々、ご協賛賜りました企業の方々に心より御礼申し上げます。重ねて、シンポジウム実行委員の先生に深く感謝申し上げます。

若手セミナーの報告

若手奨励理事 滋賀大学データサイエンス学部

杉本 知之

日本計算機統計学会では、従来学会として力を入れてきた学生奨励をさらに推進し、2017年から大学院生などの若手を対象とした合宿形式の若手セミナーを開催しています。当初は学生発表のみでスタートしましたが、前年度から学生でない若手研究者にも枠を広げ、発表者を募っています。第6回目となる2022年度若手セミナーは、2022年9月2日(金)、3日(土)に国際医療福祉大学小田原キャンパス城内校舎にて、オンライン併用のもとで実施しました。オンライン開催の

みが2020-2021年度と2回続きましたが、今回はZoomを用いたオンラインと対面の併用方式により開催することができました。参加者は若手研究者19名(うち会員15名)、その他正会員11名、非会員1名(特別講演者)の31名でした。セミナーでは、若手研究者によるライトニングトーク15件、一般研究発表9件の発表が行われました。これまでの若手セミナーの伝統を引き継ぎ、一般研究発表については通常の学会発表よりも長めの時間を用意し、うち半分程度は質疑・議論の時間にあて、参加者間の議論や交流を促しました。今回はオンラインと対面の併用のため、懇親会の開催を断念しましたが、参加者は様々な所属や立場の人が交流する機会を得ることができました。オンライン参加では交流範囲が限定されるものの参加のしやすい機会が得られました。本セミナーにて活発な議論と交流ができ、盛会のうちに終えることができましたのはひとえにご参加いただいた皆様、また準備・開催にご尽力いただいた先生方のお陰です。ここにお礼を申し上げます。今後とも若手セミナーをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

なお、2023年度若手セミナーは2023年9月1日(金)午後～2日(土)の日程で伊勢市観光文化会館にて開催予定です。開催の詳細はWebページなどで周知していきます。学生および若手研究者の方々からの多数の参加をお待ちしています。

2022年度セミナー実施報告

2022年度に2回の計算機統計セミナー(および1回の準備講座)を下記のとおり開催しましたので、報告します。

•Python 準備講座

日時:2022年8月4日(木)10:00-17:00

Zoom(Web会議システム)または現地でのハイブリット形式
現地参加の場合:同志社大学 今出川キャンパス 良心館 RY404

表題:はじめてのPython

講師:谷岡 健資 先生(同志社大学)

参加者:25名

内容:Pythonの使用方法を基本から説明し、統計解析を実施する事前準備として必要なデータ・ハンドリング技術について詳細に説明した。特に、データ解析のためのpandasライブラリを取り扱った。

•2022年度第1回計算機統計セミナー

日時:2022年8月5日(金)10:00-17:00

Zoom(Web会議システム)または現地でのハイブリット形式
現地参加の場合:同志社大学 今出川キャンパス 良心館 RY404

表題:Pythonを利用した集計・解析レポートの自動作成[実習付き]

講師:谷岡 健資 先生(同志社大学)

参加者:26名

内容:Pythonを利用してデータ解析や集計方法、レポートの自動作成方法についてとり扱った。特に、定期的にレポートを作成するような場合に、自動化が有効であること等を実際のデータを用いて説明した。

•2022年度第3回計算機統計セミナー

日程:2022年12月11日(日)13:00-16:00

開催形式:Zoomを利用

表題:大規模データの探索的データ解析と再現可能研究

講師:地道 正行 先生(関西学院大学)

参加者:4名

内容:データ解析環境Rを利用して、大規模データの探索的データ解析を目的とした前処理とデータラングリング、再現可能研究のための動的な文書生成について具体的に紹介した。

学生研究発表賞受賞者より

第36回シンポジウムで学生研究発表賞を受賞された方よりコメントを頂きましたので、ご紹介いたします。

「学生研究発表賞」を受賞して

早稲田大学創造理工学部 木村 恵悟

この度は、学生研究発表賞を賜り、身に余る光栄に存じます。今回の栄誉を授けられましたのも、多くの方々のご協力の賜物と存じ、深く感謝いたしております。共著者である後藤正幸先生(早稲田大学)、阪井優太氏(早稲田大学)、坪井優樹氏(早稲田大学)には、特に熱心なご指導を賜りましたことを、ここに厚く御礼申し上げます。

今回の受賞対象となりました論文は、機械学習において、モデルの学習対象と予測対象の性質が異なる場合に適切な予測を行うことを目的とした研究に関するものであり、既存の手法に対して、モデルの学習に有用なデータのみを選択するための工夫を施すことで予測精度向上を実現いたしました。

た。

また、この度の論文は私が人生で初めて執筆したものであり、至らない点も多くあるかと存じますが、まだまだ発展させる余地があると捉え、引き続き精進して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

同志社大学大学院文化情報学研究科 坂本 健太

この度は、日本計算機統計学会第 36 回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。審査員の先生の皆様、ならびに本大会の運営に携わってくださった全ての皆様に厚くお礼申し上げます。また平素より熱心にご指導頂いている同志社大学文化情報学部の宿久洋教授をはじめ、統計科学研究室の皆様にご心より感謝申し上げます。

本発表では「情報源とラベルの関係性を考慮した教師あり次元縮約について」と題しまして、情報源によってラベルへの当てはまりが変わる状況を想定した、マルチビューデータに対する教師あり次元縮約法を提案致しました。数値実験では、対象に対するラベルが付与される確率が情報源により偏る状況において既存手法よりも判別精度および相関情報の観点で優れた結果を得ることが出来ました。実データ適用にて、推定した重みや非ゼロ係数に対する解釈性に関して議論を行うことが出来ました。

今回の受賞を励みとして、より一層精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

大阪大学大学院人間科学研究科 瀬戸 ひろえ

この度は、日本計算機統計学会 36 回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞という名誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。審査員の皆様、ならびに本大会の運営に携わってくださった全ての皆様に厚く御礼申し上げます。また、本研究に関し熱心にご指導いただいております山本先生、木虎先生をはじめ、研究室の皆様、大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター研究室の皆様の日頃のご指導に深く感謝申し上げます。

本発表では、「条件付期待値を用いた機械学習モデルの信頼性の評価」という題目で、発表させていただきました。近年、機械学習を用いた疾病予測モデルの信頼性が評価されていない事が指摘されていましたが、既存の信頼性評価方法には、説明変数に対する信頼性を評価できないなどの課

題が存在していました。こうした背景に対し、従来手法の課題を克服する信頼性評価手法をこれまで開発しており、これを用いて、ロジスティック回帰モデルと機械学習モデルの比較を、数値実験と実データ解析にて行いました。結果として、非線形な変数への信頼性は、機械学習モデルで高く、ロジスティック回帰モデルでは低いことを実験的に示すとともに、ロジスティック回帰モデルの信頼性が、糖尿病発症予測の臨床的重要性が高い集団に対して低くなってしまっているということを検証できました。

今回用いた信頼性評価手法は、日頃医療ビッグデータ解析を行う中で生じた課題を乗り越えるために開発したものでした。そのため、この手法を用いて機械学習モデルの臨床的重要性までを示せたこと、そして学生研究発表賞の受賞という形でこの結果を評価いただけたことを、非常に嬉しく思います。この受賞を励みとし、より一層、日々精進していく所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

同志社大学文化情報学部文化情報学科 坪田 有司

この度は、日本計算機統計学会第 36 回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞という名誉ある賞を頂戴し、大変光栄に思います。学会審査委員の皆様、本大会の運営に携わって下さった先生方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。また、熱心にご指導して頂いた同志社大学の宿久洋先生、谷岡健資先生、土田潤先生、竹村祐亮先生をはじめ、統計科学研究室の皆様にご深く感謝申し上げます。

今回のシンポジウムにおいては「Robust principal component-guided sparse regression について」という題目で発表をさせていただきました。現在様々な分野において、説明変数の数が観測の数を超える高次元データが容易に取得できるようになっており、そのようなデータを分析するための手法の研究が日々行われています。高次元データ回帰分析においてよく用いられる手法としてスパース回帰分析手法があります。しかしながら、提案されている多くのスパース回帰分析手法は実データ分析における問題である外れ値の問題に対処できていません。従って、本発表ではスパース回帰分析手法の一つである principal components lasso の外れ値にロバストな拡張を提案させていただきました。また、外れ値の存在を仮定した数値実験や目的変数において外れ値の存在が疑われる実データ分析例において提案手法の有用性を確認いたしました。

コロナ禍ではありましたが、感染対策を徹底し現地にて発表する機会を設けていただいたことで、本シンポジウムに現地参加するという大変良い経験をすることができました。今回の受賞を励みとして、研究活動により一層励んでまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

「学生研究発表賞」を受賞して

同志社大学文化情報学部文化情報学科 坪谷 圭恵

この度は、日本計算機統計学会第36回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞という名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。審査をして下さった先生方、発表の際にご助言をいただいた先生方、本大会の運営に携わって下さった先生方に、厚く御礼申し上げます。また、平素より熱心にご指導して頂いている同志社大学文化情報学部の宿久洋先生、土田潤先生、竹村祐亮先生をはじめ、統計科学研究室の皆様に深く感謝申し上げます。

今回、「十分次元削減を用いた quasi-instrumental variables による局所的平均処置効果の推定について」という題目で発表させていただきました。様々な分野において、処置効果の評価は主要な目的の一つであり、未観測の交絡変数が存在するときに処置効果を推定する手法の1つに、操作変数法があります。操作変数法を用いる際に、分析者は操作変数の仮定を満たす変数の候補を事前知識、専門知識を用いて選定することがよくありますが、操作変数の仮定を満たしているかどうかデータから検証することは不可能であり、仮定を満たさない操作変数を用いて処置効果を推定するとバイアスが生じることが先行研究によりわかっております。本発表では操作変数に関する事前知識が不十分な状況において、観測された変数から、十分次元削減法を用いて操作変数の仮定を満たす変数(以下、quasi-instrumental variables)を構成する方法を検討いたしました。quasi-instrumental variables を用いた操作変数法により処置効果を推定することで、処置効果のバイアスが減少することを数値実験により確認いたしました。

今回の受賞を励みに、より一層研究活動に邁進していく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

「学生研究発表賞」を受賞して

中央大学理工学部 手塚 ゆか

この度は、日本計算機統計学会第36回シンポジウムにおいて、学生研究発表賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。

シンポジウムの運営に携わられた先生方をはじめ、座長を務められた先生方、審査に携わられた皆様に厚く御礼申し上げます。また、発表を聴講して下さった皆様にも、深く感謝申し上げます。平素よりご指導いただいている中央大学の鎌倉稔成先生をはじめ、日頃の議論や細部に渡るご助言をいただきました共同研究者の中央大学研究開発機構の木下慶紀先生、本発表に向けて様々なアドバイスをくださいました先生方や研究室の皆様、この場を借りて御礼申し上げます。

本発表では、「非負値行列因子分解を用いた観測環境の違いに頑健な水中音響シーン分類と異常検知への応用」と題し、水中音響データにおける対象シーン音の検出について、事前に学習した環境非依存な特徴を組み込んだ非負値行列因子分解を用いたシーン分離モデルを提案し、未知の環境に対応した分離や異常度を可視化した状態検知が可能になることをご報告いたしました。水中環境における目的音検知では混在する背景環境音との分離が課題となります。背景環境音は生物由来の音や波浪による自然音によって構成され、その混合パターンは観測環境により種々様々です。目的音についても個体差があることから、観測環境・音源の違いによる音響特徴量の違いに対応可能な目的音検知モデルを検討しました。水中音響データ解析に関する既存研究では、音響データをスペクトログラムに変換し、画像データとしてCNNなどの深層学習に用いた手法が提案されています。検知された異常は利用者に通達され、通報や警備等の行動を促しますが、既存手法では利用者が半別根拠を知り得ることが困難であるといった課題が考えられます。社会実装においては利用者の納得感を得やすいシステムが望ましいため、異常度の可視化が可能な状態検知の方法として非負値行列因子分解を用いた手法を提案しました。また、時間・周波数領域で局在化された高次元特徴量を一次元に特徴変換した新たな周波数領域の特徴量を用いることで、背景環境音など特徴量の複雑な時間的構造や学習時のデータ数による影響、過学習のリスクを抑えたモデル構築ができることを確認しました。本手法は、近年注目を集める海洋生物の音響観測や画像データに対する応用も期待できると考えており、今後様々な実データへの適用を検討したいと考えております。

今回の受賞は、今後統計学や社会実装に向けたデータ解析に携わっていく上で大きな自信に繋がりました。コロナ禍での開催でしたが、十分な感染対策のもと、現地で発表する機会を設けていただけたこと、心から感謝しております。この受賞を励みとして、社会課題の解決に資するような統計的

法の研究や開発を目指し、より一層精進していく所存でございます。日本計算機統計学会のさらなる発展に微力ながらも貢献していけましたら幸いです。この度は、誠にありがとうございました。

「学生研究発表賞」を受賞して

早稲田大学創造理工学部 益田 恵里花

この度は、日本計算機統計学会第36回シンポジウムにて学生研究発表賞をいただきましたこと、大変光栄に思います。審査をしていただきました諸先生方をはじめ、シンポジウムを運営して下さった皆様に厚く御礼申し上げます。また、平素より熱心にご指導くださった後藤正幸先生、研究室の先輩方にも、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

本研究では、「CNNを用いた能動学習におけるラベル付与データの選択方法に関する一考察」と題し、能動学習の各学習サイクルにおいて、ラベル付け候補データの分布全体を広く範囲に学習することを目指し、その実現のために、ラベル付けするデータの選定に、既にラベル付けされているデータと、ラベル付け候補データとの位置関係を考慮する手法を提案いたしました。各データの分布として、CNNの中間層の出力である特徴マップを用い、位置関係の測定にはコサイン類似度を用いました。そして、実データを用いた画像分類タスクに関する実験によって、提案手法の有効性を示しました。

本シンポジウムは私の学生生活において、大変貴重な経験となりました。改めて、すべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。この受賞を励みとし、より一層精進していく所存でございます。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

学会からのお知らせ

日本計算機統計学会 2022年度第1回ネット理事会議事録

■日時:2022年10月11日(火)~10月31日(月)

(メーリングリストによる審議)

●審議事項

10月4日までの会員の異動について、審議の結果、反対なく承認された。

日本計算機統計学会 第87回(2022年度 第2回)評議員会議事録

■日時:2022年11月25日(金) 16:00~17:00

■場所:富山県民会館 および Zoom でのハイブリッド開催

■出席者(敬称略, 会長・副会長以外は五十音順):

小木しのぶ(会長:議長),
宿久 洋, 山本義郎, 渡辺敏彦(副会長),
足立浩平, 阿部貴行, 飯塚誠也, 石岡文生, 石橋雄一,
五十川直樹, 大石雅彦, 大草孝介, 岡田謙介,
河合統介, 栗原考次, 坂本 亘, 佐藤耕一, 塩谷順彦,
篠津和夫, 田澤 司, 月田あづさ, 道家暎幸, 富田 誠,
永久保太士, 藤澤正樹, 山縣清壮, 米山昭成, 南 弘征,
清見文明

委任状提出:

鎌倉稔成, 久保田貴文, 下川敏雄, 瀬尾 隆, 竹内光悦,
中川重和, 橋口博樹, 藤野友和, 丸尾和司

陪席理事:

大槻成章, 川崎玉恵, 酒折文武, 桜井裕仁, 杉本知之,
水田正弘, 森 裕一, 山田隆行

●定足数の確認等

評議員総数は36(会長・副会長含む)であり、評議員会定足数19名(過半数の出席)に対し、出席者と委任状提出者数の合計が定足数を上回っていることが確認された。

●報告事項

◆1. 会員の異動(2022年度第1回ネット理事会)について
大草 庶務理事より、会員の異動状況についての報告がなされた。

◆2. 和文誌について

富田 和文誌編集理事より、和文誌の編集状況について報告がなされた。査読期間の開示の提案があり、和文誌編集委員会内で検討することとなった。

◆3. 欧文誌/JJSDについて

宿久 欧文誌編集理事より、JJSDの編集状況について報告がなされた。和文誌と同様に査読期間の開示について、編集委員会内で検討することとなった。

◆4. 広報活動について

飯塚 広報理事より、広報活動の状況について報告がなされた。

◆5. 渉外活動について

大槻 渉外理事より、渉外活動の状況について報告がなされた。

◆6. 第36回大会の報告

大草 庶務理事(兵頭 企画理事(大会担当)の代理)より、第36回大会の開催結果について報告がなされた。

◆7. 統計関連学会連合理事会・組織委員会の報告

小木 会長より、統計関連学会連合理事会・組織委員会について報告がなされた。

◆8. 若手セミナーの報告

杉本 若手奨励理事より、2022年9月2日(金)～3日(土)に開催された日本計算機統計学会若手セミナー2022の報告がなされた。全31名、若手研究者19名(うち会員15名)、正会員11名、他1名(特別講演者)で発表件数はライトニングトーク15件、一般研究発表13件となった。

◆9. 2022年度計算機統計セミナーについて

藤澤 企画理事より、2022年の若手セミナーの開催状況について報告がなされた。

◆10. 2023-2024年度 会長・副会長・評議員選挙の報告

大草 庶務理事より、2023-2024年度 会長・副会長・評議員選挙の結果について報告がなされた。

◆11. 第37回大会の準備状況

大草 庶務理事(中村 企画理事(大会担当)の代理)より、第37回大会の準備状況について報告がなされた。

◆12. 産官学参画WGについて

藤澤 産官学参画WG委員より、2022年11月25日に開催されたチュートリアルおよび、2023年度の企画について報告がなされた

●審議事項

◆1. 2021年度スタディー・グループ活動報告について

大草 庶務理事より、2021年度スタディー・グループ活動についての報告がなされ、審議の結果、承認された。

◆2. 第37回シンポジウムについて

小木 会長より、第37回シンポジウムの準備状況について2023年秋に宮崎シーガイア(宮崎県)で開催予定である旨報告がなされ、同シンポジウム実行委員長として伊藤ゆり氏(大阪医科薬科大学)が承認された。企画理事(大会担当)とすることについては11月28日に開催の第88回評議員会への申し送り事項とし、同評議員会で承認された。正式な承認は次回総会時となる。

◆3. 次期評議員会への引き継ぎ事項について

特になし。

◆4. その他

・若手セッション審査員へのインセンティブについて

山本 副会長より、若手セッション数が増え審査員確保が問題となってきていることから、その動機付けとして審査員へのインセンティブが提案された。内容について検討を行い、次年度で予算化することについて承認された。

●連絡事項

◆1. 第36回シンポジウムについて

山本 第36回シンポジウム実行委員長より、11月26日から開催される第36回シンポジウムの状況などについて報告がなされた。

◆2. その他

特になし。

日本計算機統計学会 第88回(2023年度 第1回)評議員会議事録

■議長:山本義郎(2023-24年度会長, 東海大学)

■日時:2022年11月27日(日) 15:00～16:00

■場所:富山国際会議場およびZoomによるハイブリッド開催
出席者(敬称略, 会長・副会長以外は五十音順):

山本義郎(会長:議長),
宿久洋, 河合統介, 渡辺敏彦, (副会長),
足立浩平, 阿部貴行, 飯塚誠也, 石岡文生, 石橋雄一,
大石雅彦, 大草孝介, 岡田謙介, 小木しのぶ,
鎌倉稔成, 坂本 亘, 佐藤耕一, 塩谷順彦, 下川敏雄,
瀬尾 隆, 田澤 司, 道家映幸, 富田 誠, 藤澤正樹,
藤野友和, 丸尾和司

委任状提出:

久保田貴文, 栗原考次, 篠津和夫, 杉本知之, 竹内光悦,
中川重和, 橋口博樹, 山縣翁清士, 米山昭成

●定足数確認:

評議員総数は34(会長・副会長含む)であり、評議員会定足数18名(過半数の出席)に対し、出席者と委任状提出者数の合計が定足数を上回っていることが確認された。

■議題:

●審議事項

◆1. 2023-2024年度 学会理事・監事の選出について

山本 会長より、2023-2024年度の学会理事・監事の選出と総会への上程について以下のように提案され、審議の結果承認された。

—

○企画理事:

阿部貴行(横浜市立大学), 飯塚誠也(岡山大学),
酒折文武(中央大学),
永久保太士(グラク・フーズ(株)),
山本由和(徳島文理大学)

○企画(大会・シンポジウム担当)理事:

中村永友(札幌学院大学), 伊藤ゆり(大阪医科薬科大学)

○庶務理事:

大草孝介(中央大学), 土田 潤(同志社大学),
中村智洋(東北大学)

○会計理事:

石岡文生(岡山大学), 高岸茉莉子(岡山大学)

○会誌編集理事

・和文誌:

富田 誠(横浜市立大学), 山田隆行(島根大学)

・欧文誌:

橋口博樹(東京理科大学), 丸尾和司(筑波大学)

○国際交流理事:

坂本 亘(岡山大学), 下川敏雄(和歌山県立医科大学),
弘新太郎(ファイザー R&D 合同会社),
南 弘征(北海道大学)

○広報理事:

川崎玉恵(青山学院大学), 小泉和之(順天堂大学),
谷岡健資(同志社大学), 藤野友和(福岡女子大学)

○渉外理事:

大槻成章((株)日本統計技術研究所),
小田牧子(防衛医科大学校),
桜井裕仁(大学入試センター), 竹内光悦(実践女子大学)

○将来計画理事:

足立浩平(大阪大学), 大石雅彦(シミック(株)),
栗原考次(京都女子大学), 水田正弘(統計数理研究所)

○若手奨励理事:

五十川直樹(ユーシービージャパン株式会社),
岡田謙介(東京大学), 杉本知之(滋賀大学),
村上秀俊(東京理科大学), 山本紘司(横浜市立大学)

○産官学連携理事:

小木しのぶ((株)NTT データ数理システム),
栗林和彦(バイオジェン(株)),
藤澤正樹(あすか製薬(株)),
光廣正基((株)日経リサーチ),
米山昭成((株)新日本科学 PPD)

○監事:

清見文明(九州臨床研究支援センター),
森 裕一(岡山理科大学)

—

◆2. 2023 年度 新入会員キャンペーンの実施について(資料2)

大草 庶務理事より, 2023 年度の新入会員キャンペーンの実施について説明が行われ, 審議の結果承認された。

◆3. 2023 年度 事業計画(原案)について(資料3)

大草 庶務理事より, 2023 年度の事業計画(原案)について説明が行われ, 審議の結果承認された。なお, 正式な決定は次回理事会, 評議員会, 総会を経て承認されるものとなる。

—

○1. 大会およびシンポジウムの開催

第 37 回大会を 2023 年 6 月 2 日(金)~3 日(土) にとからちプラザ(北海道帯広市)で開催する(中村永友 実行委員長)。第 37 回シンポジウムを 2023 年秋に宮崎シーガイア(宮崎県宮崎市)で開催する。

○2. 和文誌, 欧文誌の発行

和文誌は, 第 35 巻 2 号, 第 36 巻 1 号, 2 号の編集・発行を行う。

欧文誌は, 統計関連学会連合の欧文誌 JJSJ の編集・発行に主体的に参画する。

○3. ニュースレターおよびメールニュースの発行

ニュースレターは No.77, 78 を発行し, またメールニュースを随時希望する会員に送信する。

○4. 総会の開催

第 37 回総会を, 第 37 回大会開催中の 2023 年 6 月 2 日(金)にとからちプラザにて開催する。

○5. 評議員会, 理事会, その他各種委員会の開催

評議員会は第 89 回を 2023 年 6 月 1 日(木)にとからちプラザ(第 37 回大会)で, 第 90 回を 2023 年秋に宮崎シーガイアで開催する。また理事会および各種委員会(和文誌・欧文誌編集委員会, 広報委員会, 企画委員会, 学会賞委員会, その他必要な委員会)を随時開催する。

○6. 学会賞の表彰

2022 年度の学会賞授賞者を決定し, 第 37 回総会の中で表彰する。

○7. フェロー称号の授与

2023 年度のフェロー認定者に, 日本計算機統計学会フェローの称号を授与し, 認定書を交付する。

○8. スタディー・グループの推進

2023 年度のスタディー・グループの募集を行い, その活動を推進する。

○9. 2023 年度計算機統計セミナーの実施

2023 年度計算機統計セミナーについて検討し, 成案が得られ次第, 実施する。

○10. 若手セミナー(合宿形式)の実施

若手研究者・学生を開催について企画し, 成案が得られ次第, 実施する。

○11. 2024 年度総会の開催地の決定

2024 年に開催する第 38 回総会の開催地を決定する。

新入会員(敬称略)

【正会員】

○12. 渉外活動

日本学術会議協力学術研究団体としての活動, 統計関連学会連合をはじめとする各学会連合の会員としての活動を行う。

○13. 2023 年度統計関連学会連合大会

2023 年 9 月に開催される統計関連学会連合大会(京都大学)に, 本学会企画セッションを計画するなど, 主体的に参加する。

【学生会員】

◆4. その他

特になし。

●報告事項

◆1. 統計関連学会連合ならびに同大会関連委員等の選出について

山本 会長より京都大学(京都府)で開催される 2023 年度統計関連学会連合大会について報告がなされ, 同大会関連委員等について,

プログラム委員:中村永友(札幌学院大学), 杉本知之(滋賀大学)

運営委員:谷岡健資(同志社大学), 中村智洋(東北大学)

の 4 名を選出した旨, 報告がなされた。また, 統計関連学会連合大会における日本計算機統計学会セッションの運営方法について議論がなされた。

◆2. その他

・フェロー, 名誉会員の推薦について

山本 会長より現状では押印や郵送が必要となるフェロー, 名誉会員の推薦について, スキャンしたデータの送付などで対応する電子手続きについて提案がなされた。執行部で正式なプロトコルを整備し, 2023 年度から実施できるよう Web 審議を実施することとなった。

・産官学連携委員会(仮称)について

小木 評議員より産官学連携委員会(仮称)の提案がなされた。次回理事会で設置を提案する。

●連絡事項

◆1. その他

特になし。

現会員数(2022 年 10 月 4 日現在)

正会員数(国内・海外) 488

学生会員 68

賛助会員 22

団体会員	1
合計	579

学会・研究会のお知らせ

【開催予定一覧】

【国内】

・日本計算機統計学会 第37回大会

会場: とかちプラザ(北海道帯広市)+オンライン(ハイブリッド開催) (予定)

日程: 2023年6月2日(金)~3日(土)

<http://jcs.jp/conf/taikai37/>

・2023年度 統計関連学会連合大会

会場: 京都大学吉田キャンパス(京都府京都市)+オンライン(ハイブリッド開催) (予定)

日程: 2023年9月3日(日)~7日(木)

(9月3日(日)は, チュートリアル・市民講演会(オンライン)のみ。)

<http://www.jfssa.jp/taikai/2023/>

【国外】

・64th ISI World Statistics Congress 2023

会場: Shaw Centre, Canada

日程: 2023年7月16日(日)~20日(木)

<https://www.isi2023.org/>

・25th International Conference on Computational Statistics (Compstat 2023)

会場: University of London, UK + online (hybrid)

日程: 2023年8月22日(火)~25日(金)

<http://www.compstat2023.org/>

・IASC-ARS 2023

会場: Macquarie University in New South Wales, Australia

日程: 2023年12月6日(水)~8日(金)

<https://iascars2023.netlify.app/>

・The 16th International Conference of the ERCIM WG on Computational and Methodological Statistics (CMStatistics 2023)

会場: HTW Berlin, University of Applied Sciences, Berlin, Germany + online (hybrid)

日程: 2023年12月16日(土)~18日(月)

<http://www.cmstatistics.org/CMStatistics2023/>

◆2023年度計算機統計セミナーについて

日本計算機統計学会では, 計算機統計学の普及・発展の一環として, 2009年より計算機統計セミナーを実施しております。今年度のセミナーにつきましては現在企画中ですが, 決まり次第以下のURLおよび, メールニュースにて随時お知らせいたします。

URL:<https://jcs.jp/学会の活動/セミナー/>

和文誌編集委員会からのお知らせ

◆執筆要項の改訂のお知らせ

和文誌編集委員会では, 2022年5月に「執筆要項」を見直し, 改訂しました。「執筆要項」の全文は, 和文誌『計算機統計学』第35巻第1号, またはウェブページ

<https://jcs.jp/学会の活動/学会誌/和文誌/>

をご覧ください。論文投稿を検討されている会員は, ご一読いただきますようお願い申し上げます。

◆Web Appendix 導入のお知らせ

和文誌編集委員会では, 2022年6月よりWeb Appendixを導入することになりました。付録を付けたい場合に, 本論文の補足的な内容をまとめた pdf 形式のものに限り, Web Appendix としてJ-STAGEで公開する予定です。なお, Web Appendix も査読対象となるため, 本論文の体裁に合わせて準備されたものを Editorial Manager より投稿いただきます。会員のみなさまにおかれましては, 特に, 論文の投稿を積極的にご検討いただけますよう, あらためてご協力のほど, よろしく願いいたします。

広報委員会からのお知らせ

◆ニューズレターでの広告掲載について

本ニューズレターでは広告の掲載を募集しております。広告掲載をご希望の会員は, 渉外理事(shougai@jcs.or.jp)までお問い合わせください。また, ニューズレター以外の媒体のうち, 学会ウェブページ(<https://jcs.jp/>)のバナー広告, 和文誌, 計算機統計セミナー関連の広告掲載に関するお申し込み・お問い合わせも, 上記のE-mail アドレスにて随時受け付けています。

なお, 大会およびシンポジウム関連の広告掲載については, それぞれの実行委員会にご連絡をお願いいたします。

事務局からのお知らせ

◆会費納入のお願い

先日、会員の皆様には2023年度会費振込用紙を送付しました。会費の納入が滞ると学会運営に大きく影響しますので、忘れずに納入していただきますようお願いいたします。会費のお支払いは、下記の口座への振り込みのほか、クレジットカード払いも可能です。

詳細は会費振込用紙と一緒に送付した「会費納入のお願い」をご覧ください。なお、複数年にわたって滞納されますと、評議員会の議を経て除名されることがありますので、ご注意ください。

【口座名義両方とも】日本計算機統計学会

《ゆうちょ銀行》口座番号:00180-0-537374

《銀行》三菱UFJ銀行 青山支店

普通口座:5284324

◆高齢者会員の会費割引について

本会では、主として退職された会員を対象に会費割引の制度を設けています。

(1) 60歳の誕生日を過ぎていること

(2) 会誌(和文誌・欧文誌)の配布を希望しないこと

の両方を満たす場合、お申出により会費が割引(7,000円 → 2,000円)となります。会費割引には評議員会での承認が必要となりますので、ご希望の会員はお早めに事務局にお申出ください。

◆2023年度の新入会員の特典について

2023年度に学生会員または賛助会員として新規に入会された新入会員は、入会特典を受けることができます。統計科学に関する研究を行っている学生の方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひこの機会に入会をお誘いください。

また、学会では賛助会員のために様々な形で計算機統計学に関する情報の提供・交換の場を設けています。会員の皆様には、統計科学とその周辺領域、コンピュータなどに関係のある企業・団体をお誘い、あるいはご紹介くださいますようお願いいたします。

入会特典の詳細につきましては、学会ウェブページの<https://jcs.jp/入会のお誘い/新入会員特典/>をご覧ください。

◆会員情報の変更について

所属変更等をされた会員の方は、お手数とは存じますが、学会への変更の届出を忘れずにお願いします。届出を忘れると郵便などによる学会からの連絡が届かなくなってしまう可能性があります。学生会員の方で今年就職をされた方は、今年度から正会員となりますので、必ず新しい所属・連絡先をお知らせください。

会員情報に変更のある会員の方は、学会事務局(office@jcs.or.jp)宛に電子メールで変更点をお知らせください。

ご理解、ご協力をいただけますよう、お願い致します。

◆休会制度、種別変更猶予制度について

本会では、休会制度および種別変更猶予制度を設けています。

「休会制度」は、会員に特段の事情が認められる場合、理事会の承認を経た上で、会員資格の停止とともに、会費を徴収しないことができることとした制度です。

「種別変更猶予制度」は、学生会員が学生としての身分を失い正会員に移行する際に、経済的事由などにより正会員として学会に所属することが著しく困難であると理事会で認められた場合、引き続き「学生会員」として所属できることとした制度です。

本制度は、年度単位で適用されます。希望される会員は、事務局までご照会ください。なお、本制度に関わる申し合わせは、

<https://jcs.jp/face/rules/kyukai.html/>

からご覧いただけます。

◆スタディー・グループ募集のお知らせ

2023年度のスタディー・グループを募集しています。スタディー・グループとは、計算機統計学およびその周辺分野から重点的な研究テーマを募集・選定し、そのテーマに関する研究活動(最大3年間)を奨励する制度です。評議員会で設置が認められると、学会から1グループあたり年間最大5万円の補助金が受けられます。スタディー・グループの設置を希望されるグループの代表の方は、必要事項を明記した設置申請書を学会事務局にお送りください(E-mail, FAX, 郵送いずれも可)。応募締切は4月28日(金)(必着)です。なお、スタディー・グループの概要および申請方法・様式等につきましては以下のウェブページをご覧ください。

<https://jcs.jp/学会の活動/スタディーグループ/>

広報委員会

(五十音順, *印は理事, +印は今号編集担当)

安藤 宗司+(東京理科大学)
石岡 文生(岡山大学)
大草 孝介(中央大学)
川崎 玉恵*(青山学院大学)
小泉 和之*(順天堂大学)
下川 朝有+(東京理科大学)
谷岡 健資*(同志社大学)
玉谷 充+(成城大学)
藤野 友和*(福岡女子大学)
南 弘征(北海道大学)
村上 秀俊(東京理科大学)
山本 由和(徳島文理大学)

	日本計算機統計学会への入会のお誘い	
--	-------------------	--

日本計算機統計学会事務局

日本計算機統計学会では、随時新入会員を募集しております。会員の皆様の近隣で計算機統計学に興味のある方がいらっしゃいましたら是非入会をお勧めください。個人会員、賛助会員ともに入会いただくと、さまざまな特典があります。

2023年度の入会特典について**【対象期間】**

2023年度(2023年1月1日～12月31日)

【対象者】

対象期間内に新規に学生会員または賛助会員として入会申込を行い、入会金・初年度年会費を納入した新入会員

(入会金・初年度年会費の納入が確認された時点で特典の権利が発生します)

※賛助会員には入会金はありません。

<学生会員になられる方への特典>

本会の大会またはシンポジウムに、1回に限り無料で参加することができます！

<賛助会員になられる企業・団体への特典>

学会発行の論文誌、講演報告集、ニューズレターなどに企業広告を廉価で載せることができます！

入会特典についての詳しい内容は学会ウェブページをご覧ください。

<https://jscs.jp/入会のお誘い/> → 新入会員の特典

<お問合せ・連絡先>

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-6 能楽書林ビル 5F
(財)統計情報研究開発センター内 日本計算機統計学会事務局

TEL:03-3234-7580 (平日 9:30～17:00)

FAX:03-3234-7580

E-mail: office@jscs.or.jp

URL: <https://jscs.jp/>